

#43 大人の「おうち時間」 夫婦で家飲み、 非日常を愉しむ。

外出自粛やリモートワークの実施など、「おうち時間」が増えたことで住まいでの過ごし方もずいぶん変わったのではないのでしょうか。最初は戸惑うこともあったけれど、今では新しいライフスタイルとして積極的に愉しんでいる人も多いようです。そのひとつが「家飲み」。

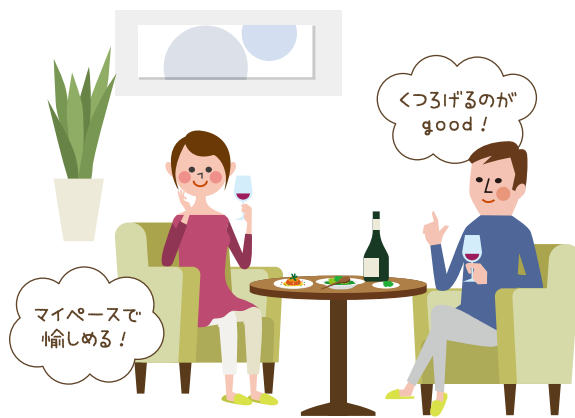
積水ハウス住生活研究所ではコロナ禍の前、2016年から「わが家でお酒を愉しむ暮らし」に着目し、さまざまな研究や提案を行ってきました。今回はそのノウハウをもとに、「家飲み」をもっと豊かにするヒントやアイデアをご紹介します。



家飲みの魅力、再発見！

実際に「おうち時間」の増加で、家飲みをする人は増えたのでしょうか。アンケート調査によると、新型コロナウイルスの感染拡大前とそれ以降では、家飲み派は約80%に増加し、以前より5ポイント程度アップ。家飲みの頻度も確実に増えているという結果が出ています。

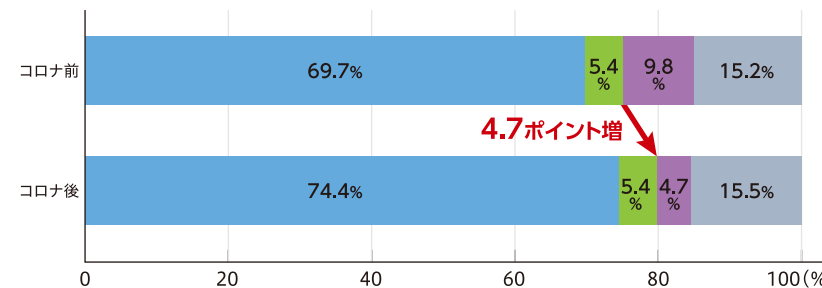
この変化は外飲みの機会が減ったことも大きく影響していると考えられますが、家飲みを実践してみるとその魅力にあらためて気づいた人も多く、今後ともわが家での過ごし方として定着していくと言えるでしょう。皆さんの中にも「リラックスして飲める」「外飲みより安くすむ」「のんびり飲める」「時間を気にしなくていい」といった、家飲みならではのメリットを再発見した人も少なくないのではないでしょうか。



■やはり増えている家飲み派

家飲みアンケート調査/
積水ハウス住生活研究所(2020年)

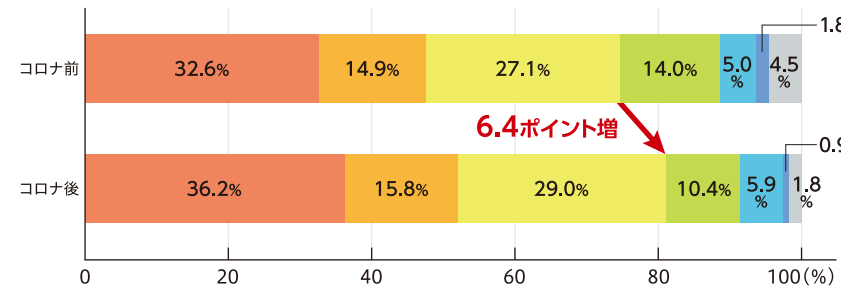
- 家飲みしている
- お酒は飲まないが家族が家飲みしている
- お酒は飲むが家飲みはしていない
- お酒は飲まないし家族も家飲みはしていない



■家飲み頻度も増加傾向

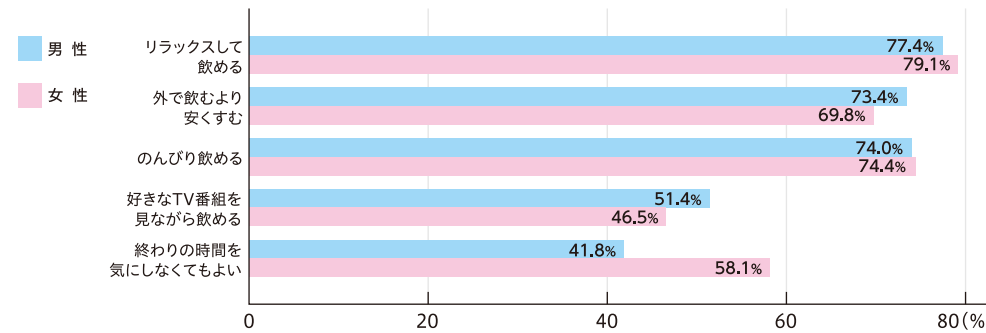
家飲みアンケート調査/
積水ハウス住生活研究所(2020年)

- ほぼ毎日
- 週4~5日程度
- 週2~3日程度
- 週1日程度
- 月2~3日程度
- 月1日程度
- 月1日未満



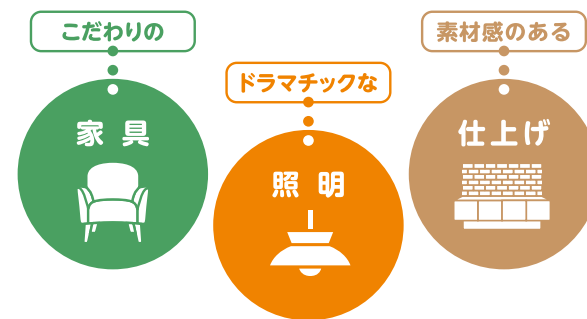
■家飲みならではの魅力

家飲みアンケート調査/
積水ハウス住生活研究所(2020年)



非日常感の演出で、家飲みをランクアップ。

最初はくつろぎ感やのんびり感が心地よかったけど、家飲みを続けていると少しマンネリ気分にも陥りがち。そこでおすすめなのが、いつものわが家と違う雰囲気づくり、ちょっと非日常感を持たせるように空間を演出することです。



■非日常感を演出する3つのポイント

お手本になるのは、隠れ家風のバーやお洒落なレストランのイメージ。「インテリアの仕上げ」「照明の工夫」「居心地を高める家具」の3つのポイントから、特別感や高揚感を創り出せるようにアプローチするのが秘訣です。

家飲みのランクアップはもちろん、オンライン飲み会でも「今どこにいるの?」「家じゃないみたい!」なんて、ちょっと話題になるような空間づくりを目指してみませんか。

